



ちばりは ニュース

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

理 念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

—私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します—

2020年8月発行 第41号

千葉県千葉リハビリテーションセンター 広報誌



〒266-0005
千葉市緑区誉田町1-45-2
TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857
ホームページアドレス
<http://www.chiba-reha.jp/>

基本方針

- 利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
- 日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。
- 地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。

義肢装具症例検討会 始動！！

成人入院・入所者への装具作製の取り組み

補装具製作施設は、令和2年度に義肢装具士1名が増員され2名体制となり、成人入院・入所者への装具作製に取り組みはじめました。そして、患者様に適した装具を作るために症例検討会を毎週火曜日の16時15分から1時間程度、リハビリテーション療法室（成人）にて行っています。症例検討会は、患者様・リハビリテーション科医師・セラピスト・義肢装具士が立ち合い、どのような装具が適しているのか話し合います。

（写真①）その方針に沿って義肢装具士が装具を作り、次回の症例検討会にて仮合わせを行います。（写真②）さらに、次の症例検討会で完成の状態を確認します。（写真③）患者様の要望を聞きながら、それぞれの専門職の立場から意見を出し合い、より良い装具作りを目指しています。



①作製する装具の検討・採型 →

いくつかの装具を試着し歩行していただき、どのような装具が良いのか話し合います。その後、義肢装具士が採型し、装具を作ります。



②仮合わせ →

作製した装具が適切かどうかの評価をします。改良すべき所があれば、どのように直すのか検討します。



③完成

完成した装具の確認をします。気になる場所があれば、さらに修正を加えます。

装具の評価をスムーズに行うためには、訓練室備品用装具の充実が必要です。補装具製作施設が作製した訓練室備品用装具の紹介は次のページで。（P2へ）

補装具製作施設が作製した備品用装具の一部を紹介



膝継手交換式長下肢装具

一つの短下肢装具に、種類の違う膝継手を作り訓練状況に合わせて付け替えが可能なものです。左からリングロック・SPEX・ダイヤルロック膝継手です。



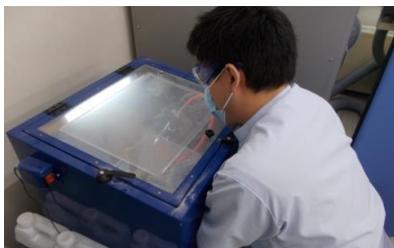
ベルト付継手付プラスチック短下肢装具
ベルトの調整により固定式にも遊動式にもなるので、訓練の状況に合わせてセラピストが調整できます。



左のリングが通常のもので、右はクイックリングで、ベルトをリングに通しにくい人に向けています。備品用に用意し、試してもらうことができます。

○ サンドブラスターとは？ ○

今年度から装具作製に取り組み始めたことに伴い、「サンドブラスター」を導入しました。金属支柱式の装具を作るときは、体に沿わせるために金属の曲げ加工を行います。そのとき、どうしても支柱が傷ついてしまいます。その傷を表面加工して金属を綺麗に仕上げるための機械がサンドブラスターです。左が作業している写真です。真ん中が加工前で、右が加工後です。



病院機能評価の更新認定を受けました！

■ 3度目の更新認定

当センターは、(公財)日本医療機能評価機構が実施する病院の第三者評価である「病院機能評価」の認定病院となっています。この認定には期限があり、認定を更新するには再度審査を受ける必要があるため、当センターではプロジェクトチームを結成し、その準備に当たってきました。

昨年12月に日本医療機能評価機構のサーベイヤー4名がセンターに来訪し、2日間に渡る審査が実施されました。その結果、今年4月に3回目の認定を受けることが出来ました。

病院機能評価では、診療やケアにおける各部門の取り組みから経営管理に至るまで114個の評価項目について、4段



訪問審査当日の様子(昨年12月)

階での評価が付けられます。今回の受審では下記8項目について最上級の評価であるS評価を受けました。特にリハビリテーションに関しては、理学療法、作業療法、言語聴覚療法の全てにおいてS評価となりました。

また、他の事業所へ向けた研修会の積極的な実施や、個別の事例に対する相談対応についても高い評価を頂きました。

S評価を受けた8項目

1. 患者支援体制を整備し、患者との対話を推進している
2. 地域に向けて医療に関する教育・啓発活動を行っている
3. 理学療法を確実・安全に実施している
4. 作業療法を確実・安全に実施している
5. 言語聴覚療法を確実・安全に実施している
6. 生活機能の向上を目指したケアをチームで実践している
7. リハビリテーション機能を適切に発揮している
8. 療養生活の活性化を図り、自立支援に向けて取り組んでいる (愛育園)

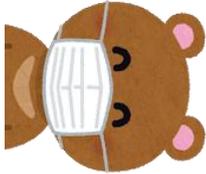
今回の認定までの過程を通して、優れていると評価された点についてはセンターの強みとして伸ばしていくとともに、更なる改善が望まれる点についても速やかに対応していくことでセンター全体で医療の質を向上し、利用者の皆様にご満足いただける病院を目指して職員一同精進してまいります。

詳しい評価結果については
 (公財)日本医療機能評価機構のホームページをご覧ください。
 QRコードからもアクセスできます→



新型コロナウイルス感染症に係る対応について

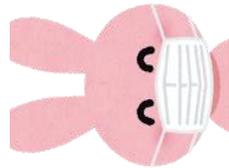
当センターでは、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大を防止するための対応を行っております。



詳細につきましては、下記よりセンターホームページのお知らせをご確認ください。

URL

<https://www.chiba-reha.jp/news/corona/>



ホームページリニューアルのお知らせ



7月にセンターホームページをリニューアルいたしました。

今回のリニューアルでは、ご利用の皆様がより使いやすく情報を探しやすいよう、構成やデザインを全面的に変更いたしました。

引き続き、ご利用の皆様に使やすいホームページを目指して内容の充実に向けてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



センター案内図



車のご利用

- ・千葉東金道路 大宮インターから約10分
- ・京葉道路 松ヶ丘インターから約25分

電車・路線バスのご利用

- ・JR千葉駅東口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約40分
- ・JR外房線鎌取駅北口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約9分

無料送迎バスのご案内

平成25年10月5日改定

(センター⇄JR鎌取駅 循環運行)

JR鎌取駅北口発 千葉リハビリテーションセンター行き

時	平日	土曜日
8	10 30 50	10 30 50
9	10 30 50	10 30
10	10 30 50	20 40
11	10 30 50	00 20
12	10 30 50	
13	10 30 50	
14	10 30 50	
15	10 30 50	
16	10 30 50	
17	10 40	

千葉リハビリテーションセンター発 JR鎌取駅北口行き

時	平日	土曜日
8	03 23 43	03 23 43
9	03 23 43	03 23
10	03 23 43	13 33 53
11	03 23 43	13
12	03 23 43	
13	03 23 43	
14	03 23 43	
15	03 23 43	
16	03 23 43	
17	03 33	

- ①センター送迎バス発着場所について
鎌取駅発・・・鎌取駅北口ロータリー付近
(専用のバス停はございません)
センター発・・・センター正面玄関前
- ②車椅子ご利用の乗車定員について
中型バス(黄色)・・・2名
マイクロバス(水色)・・・3名
- ③日曜・休日は運休となります。
- ④道路混雑等により遅延する場合があります。